

ごきげんよう皆さん
私の名前は華子^{はなこ}

都市伝説の
トップスター

トイレの
花子さんとも
呼ばれているわ

小学生の頃から
トイレ警備員として
日々励んでいるのよ

だけどこの学校も
新しい校舎が建てられ

この古い校舎は
誰も来なく
なってしまったわ

時々
遊びに来てくれる子も
いらっしやるのよ

でもどうしてかしら
すぐに帰って
しまいますの 一人は退屈

そんな暇を持てあまし
二次元へとぬくもりを
求めるようになった私に

あなた

漫画を描くことを
勧めてくれたのが
親友のメリーでしたわ

漫画を
描いてみたら
いかがかしら？

あなたの目は
間違っ
て
いませんでしたわ！

しかもトイレが
こんなにも
作業に集中できる
最高の場所だったなんて

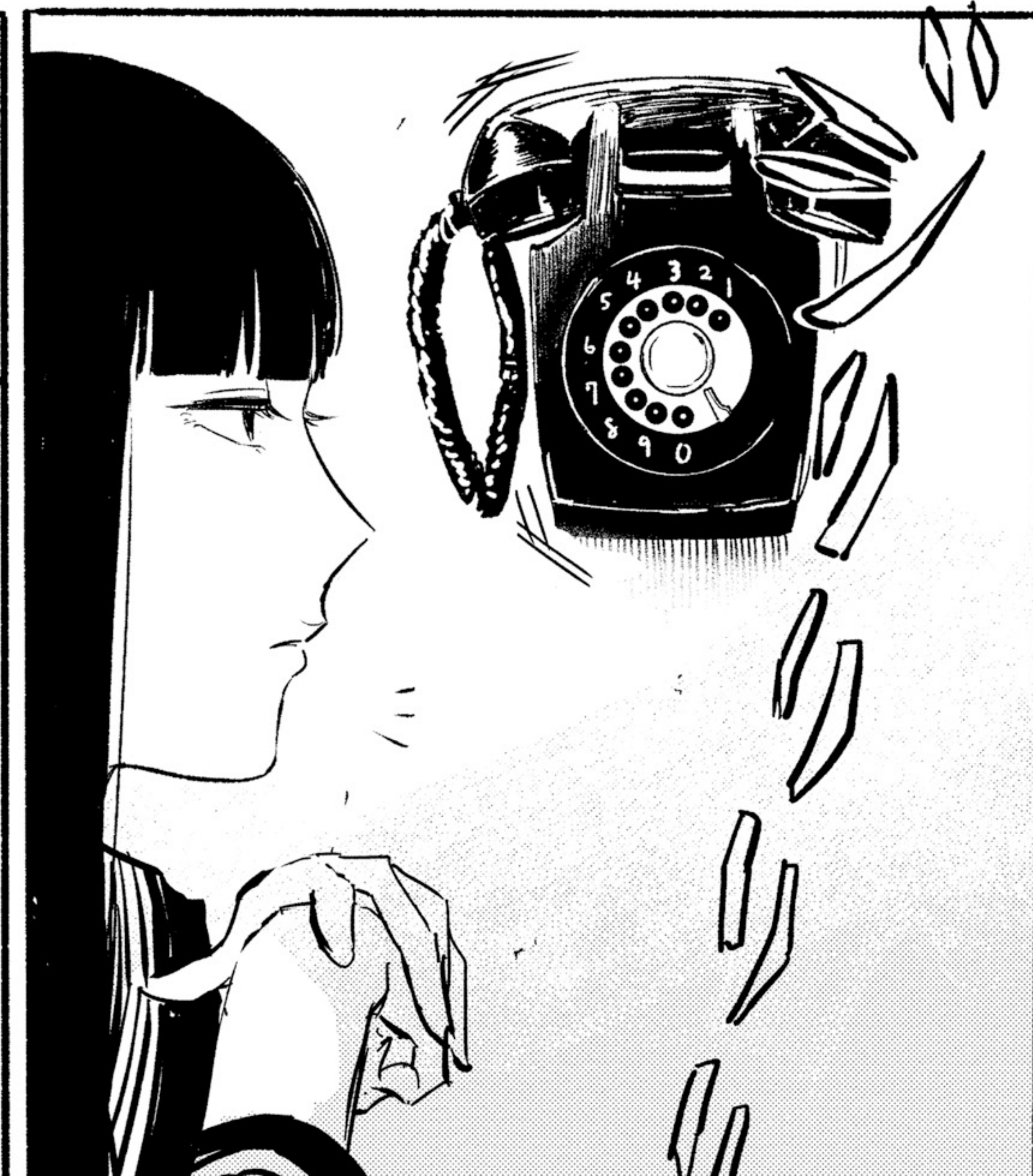
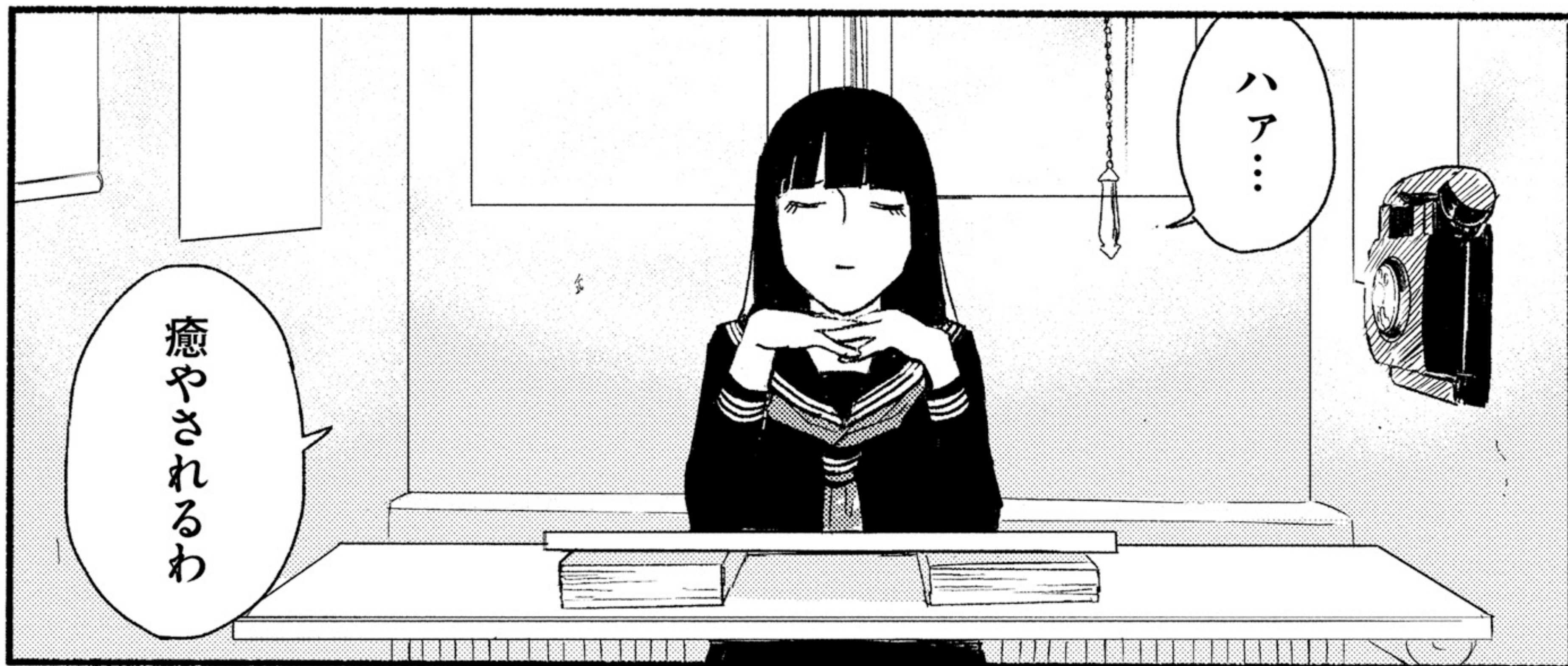
誰も来ない
静寂な空間

程よい狭さの
ワークスペース

そして

5秒間、作業が停止します。
延長します。

ヤキッ





あなたの後ろ



はぎやあああああ!!



突然背後に出るの
やめてって
言ってるじゃない!!

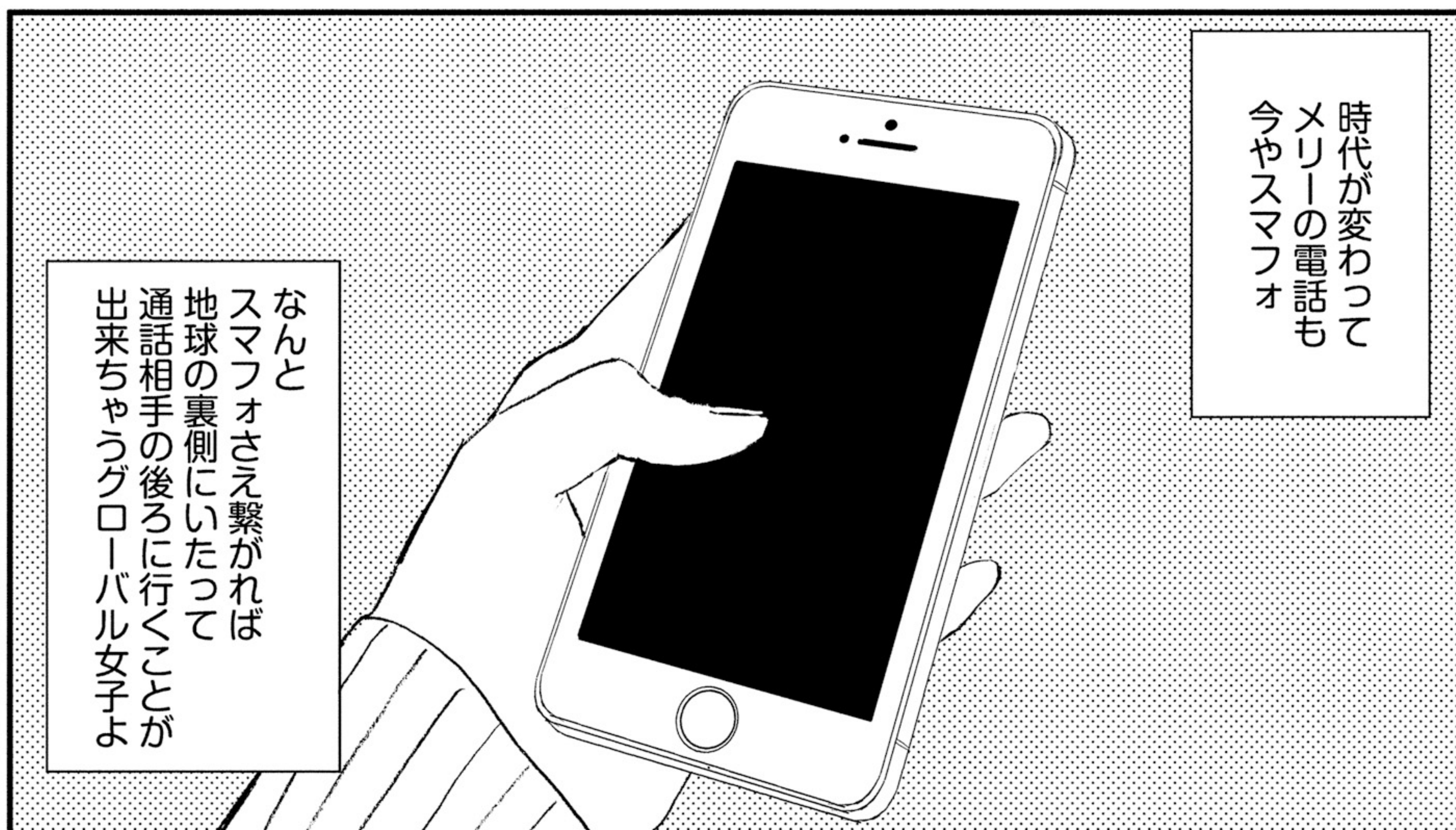
ごめんなさい
仕方ないのよ



この子が私の親友メリー
都市伝説では
アイドル的存在

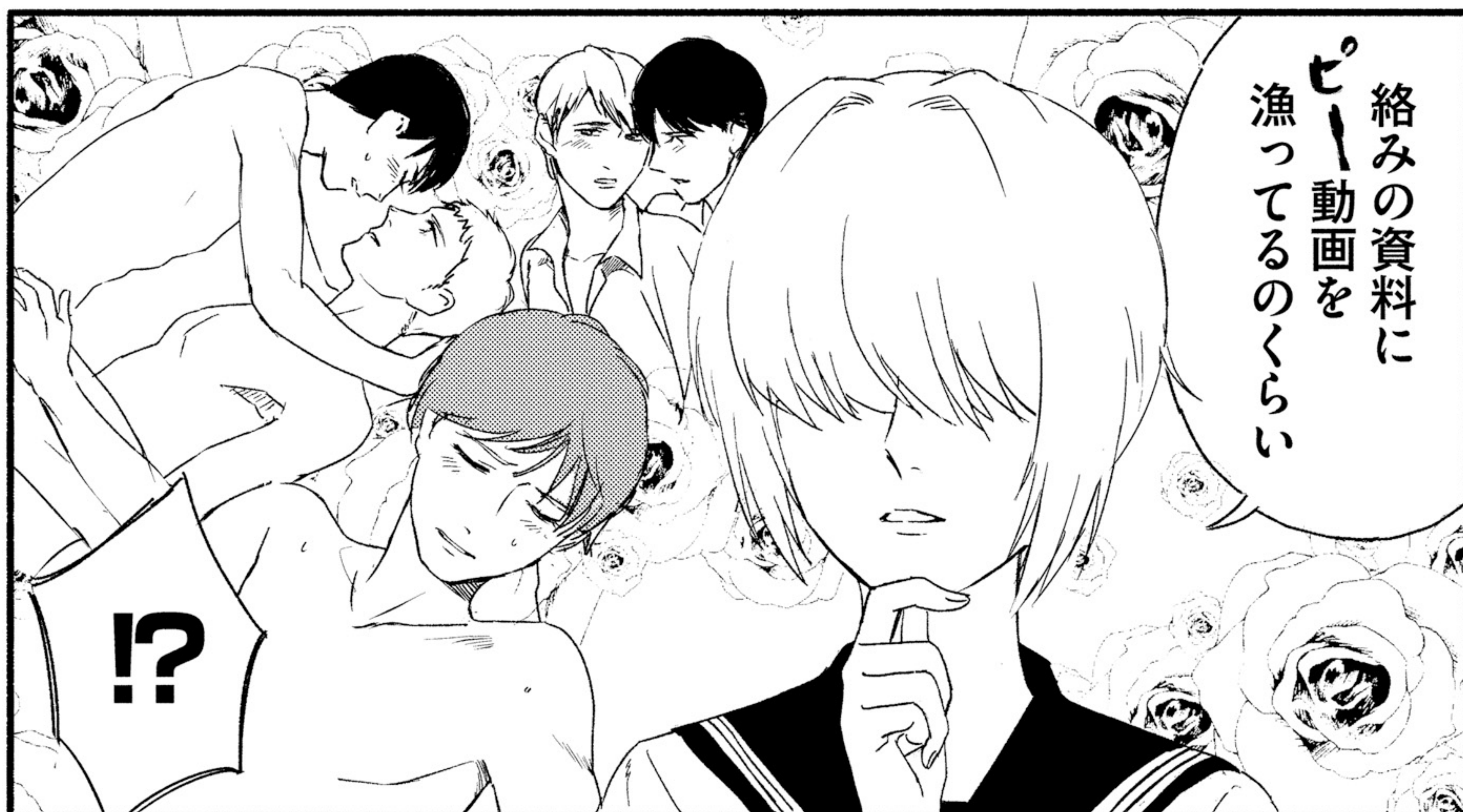
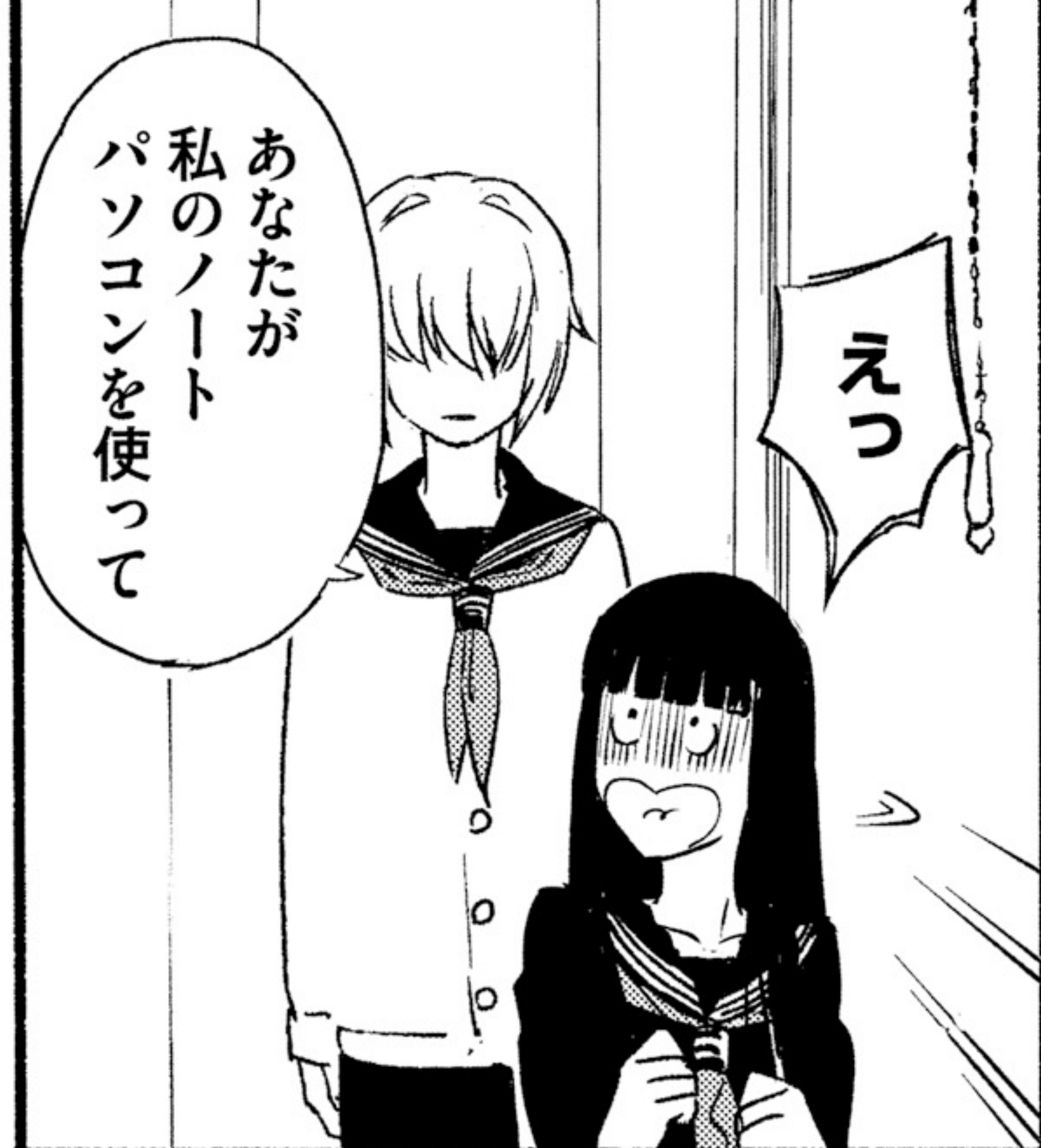
メリーさんの電話で
お馴染みかしら

クールな子だけど
人をおどかすのは
とても好きみたい
迷惑だわ…



時代が変わって
メリーの電話も
今やスマホ

なんと
スマホさえ繋がれば
地球の裏側にいたって
通話相手の後ろに行くことが
出来ちゃうグローバル女子よ



違うのよ
それはいろいろ
訳があつて……!

リアルを
追求するなんて
素晴らしい努力だと
思うわ

ところで原稿は
進んだの?

! ええ! 途中だけど
読んで下さる?

ふふ
この瞬間は
いつも緊張するわ

ああら……?

駄目だったかしら
自信あったんだけど

とてもいいわ
こんなに笑ったの
久しぶり

いつ笑ったの


私好きよ
あなたの愛情が
伝わってくるもの

フェティシズムが
滲み出ている
あなたを身近に
感じるわ


それにこの
シチュエーションも
堪らないわ

普通に
褒められるより
恥ずかしい…

そうなのそうなのよ
「こたつ」はロマンよね!!



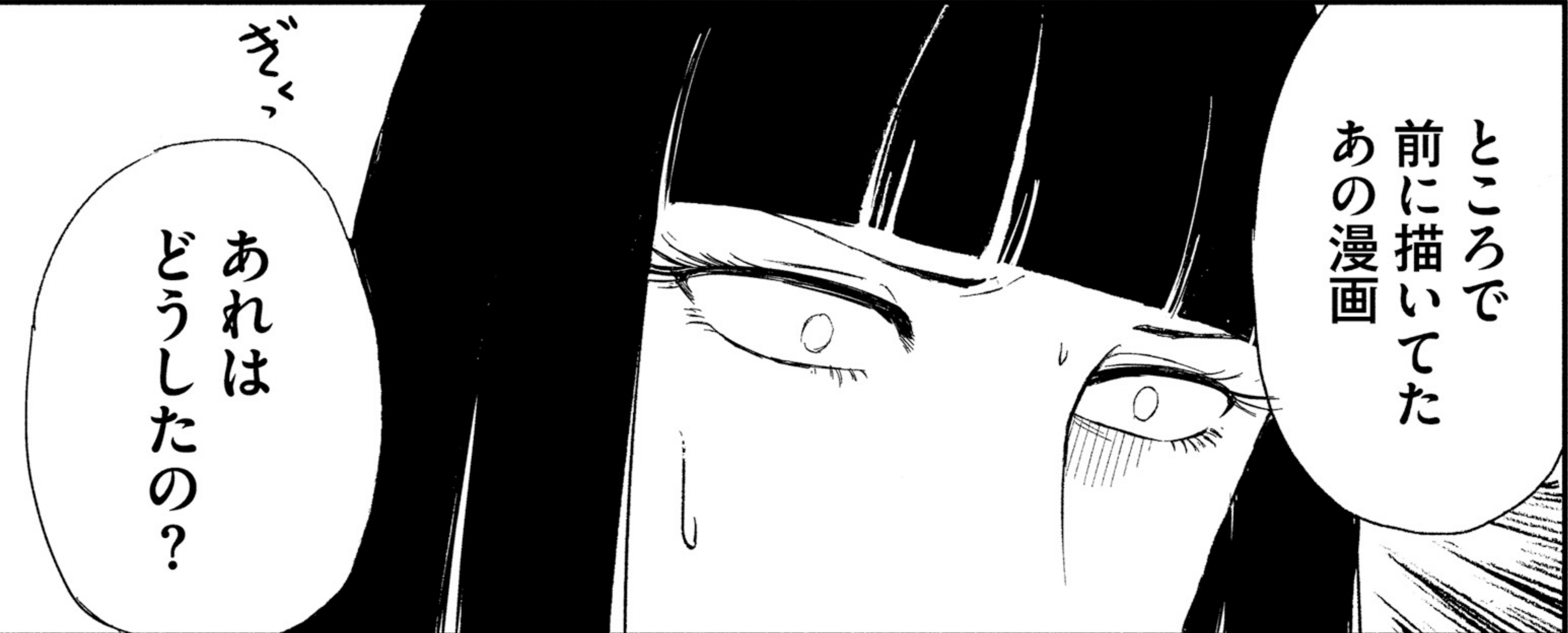
あえて詳しく見せず
赤く火照る表情だけで
妄想をかき立てる



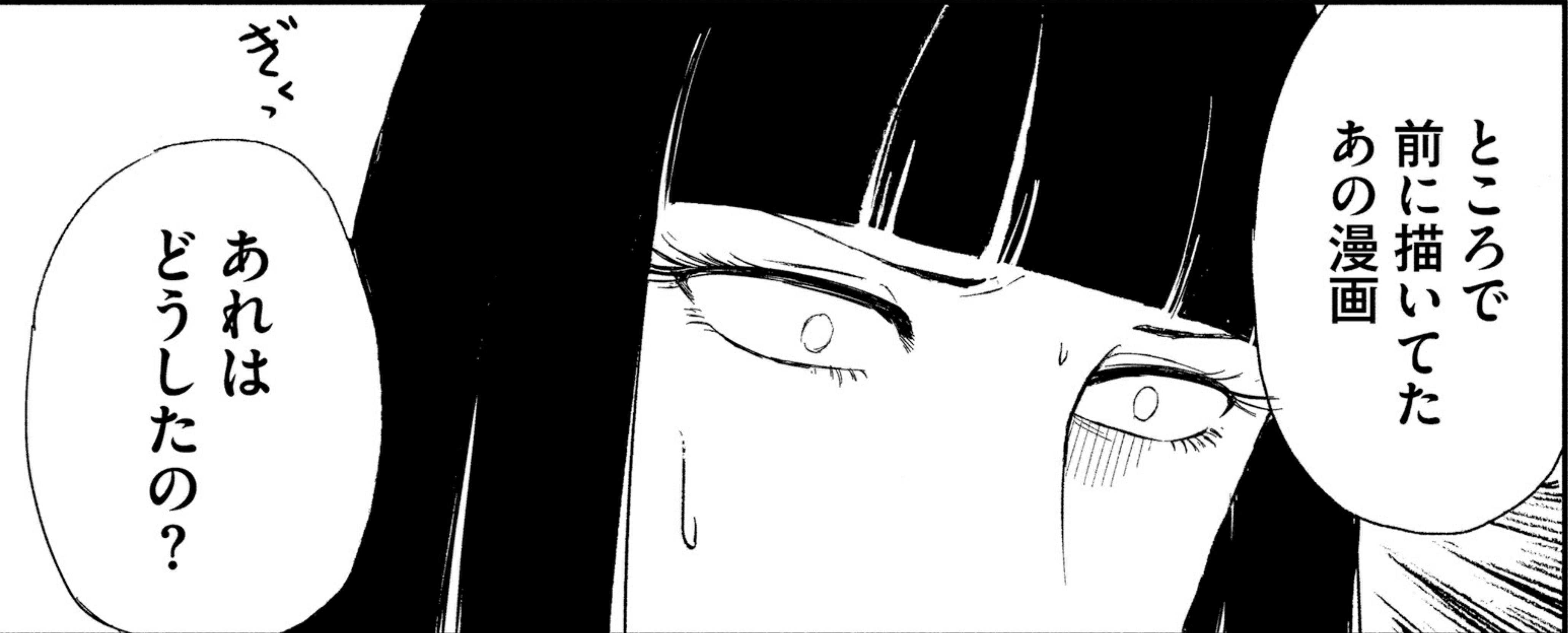
中でみだらな情事が
行われてると思うと




そこは暑いから
火照ってるだけよ!!




ところで
前に描いてた
あの漫画




あれは
どうしたの?




あー
あれ…




うーん
描きたいのよ?
描きたいんだけど
そっち描きたく
なっちゃって



時間もほら
ないしい…



…時間がない?



そうよね

戦闘機の男の子を
育成してばかりじゃ
時間なんて
なくなるわよね？

ハッ
なぜご存じなの!?

プライバシーの
侵害ですわ!

私が貸した
パソコンで
ログインしたまま
だったでしょ

あ…

1日で60レベルも
上げてんじゃないわよ!!

だってだって
今月はキャンペーン中で
回復アイテムが

ええい
言い訳はきかん!!

